



謹賀新年

本年もよろしくお願いたします！

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は一方ならぬご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます
お蔭様で弊社は、創立満4年を迎えます。これもひとえに
皆様のご支援とご協力の賜物と感謝いたしております。

本年はうさぎ年にふさわしく飛び跳ねるように、一層の
サービス向上を目指してまいりますので、何卒よろしくお願
い申し上げます。

生活の中での医療と健康の支援を実現し、個人が自分で自
分の健康を見つめ直すことのできる社会の創出に向けて、
我々の理想を掲げて邁進していく所存です。

昨年は、保健指導・コンタクトセンタ・システムレスポンス
などお客様の満足度が十分でなかったように感じるものがあ
りました。

本年は、社員一人ひとりが社会の基盤を作るということの
崇高さと、個人の方の情報の重要性を考え、新たな創業元年
との覚悟を今一度持ち、『お客様』と『お客様のお客様』、
そして『それに関わる多くの方』に安心と信頼を提供し、満
足して頂けるサービスをご提供できるように進めてまいりま
す。

昨年末に厚生労働省から「高齢者のための新たな医療制度
等について（最終とりまとめ）」の報告書ができました。平成
25年度からの医療費適正化計画の第2期スタートに向けて
制度が見直されることになり、私共もこうした変化にタイム
リーに対応できるようにしていかなければならないと考えて
おります。

弊社ではこれまで“健康づくり”に役立つ事業として、
色々な実証実験に取り組んでまいりました。その成果として、
実証実験に参加していただいた方の一人当たりの医療費の伸
び率が抑制されたという結果を得ました。これはまさに、国
民全体の課題である『医療費適正化』に貢献できる事業であ
ると確信いたしました。

今後は実証実験での経験を活かした事業拡大として、様々
な健康増進サービスを中心とした新たな事業推進を検討・実
践してまいります。健康診断業務支援から健康自己管理支援
まで“健康づくり”に良質で効果的なシステムやサービスが
提供できるようにいたします。

そのためにも皆様からご意見をいただき、共に発展してま
いりたいと存じますので、これまで同様にご支援、ご協力を
賜りますよう、何卒よろしくお願申し上げます。

2011年1月

代表取締役社長 齋藤 稔

■健康ワンポイント！

今年の冬は本当に寒い日が続いていますね。なかなか外へ出かけるのも、運動をするのも億劫になりがちですね。そんなときは日常生活の中でちょっとした工夫で活動量をアップさせていきましょう！

徒歩に変えてみよう

車から自転車、自転車から
徒歩に変えてみましょう。
10分だと
1000歩くらい
になります。
外へ出たついでに
活動量UP！



階段を使って筋トレ効果

運動量を増やすために、駅
のエスカレーターや建物の
移動には階段を使うことが
効果的。筋トレ効果もあり
ますよ！



ながら運動で家事も運動に

歯磨きしながら踵をあげたり、
洗い物の時は片足立ちをする。
買い物帰りに袋を身体から少し
離して持つ、テレビを見なが
ら腹筋など、日常生活の中
には運動のチャンスが
いっぱいです。



姿勢を保つだけで運動

職場や電車の中で座っている
ときに良い姿勢を保つだけ
でも腹筋効果があります。膝を
合わせて踵を持ち上げたり、
膝に物を挟むと運動の効果も
上がりますよ。



ヘルスアップWeb活用事例

今回は今までとは少し活用方法の異なる、医療機関で携帯電話と連携したヘルスアップWebの活用事例紹介です。

■退院後在宅患者への健康管理に活用

病院から退院後の在宅患者に対する健康管理にヘルスアップWebを活用した事例を紹介します。

宮崎県延岡市で、60年以上にわたって地域医療を担って来られた医療法人 久康会 平田東九州病院様。患者の方は“ゲスト”、病院スタッフの方は医療現場で与えられた役を演じるプロとして“キャスト”と呼び、『自分が受けたい医療、または、家族に受けさせたい医療を目指します』を理念に、ユニークかつ先進的な病院づくりを推進されています。

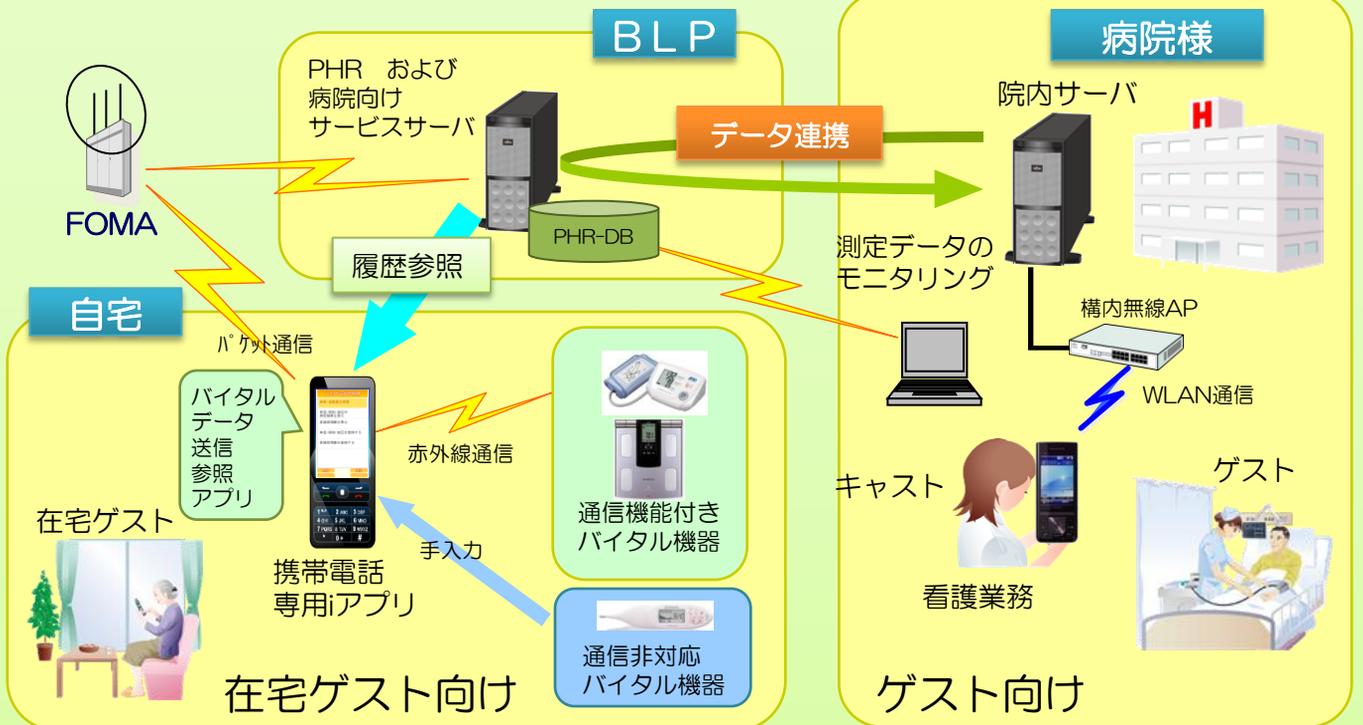
また院内のIT化にも積極的で、従来より富士通製スマートフォン「F1100」を使用したゲストのバイタル情報管理により、ゲストの安全と医療業務の改善に取り組んでこられました。さらに今回、退院後のゲストについても同様なバイタル管理ができないか富士通に相談を頂き、当社のヘルスアップWebと携帯電話の利便性を活かした「バイタル情報収集システム」をご提案させていただきました。

このシステムは、通信機能付の血圧計と体組成計で測定したデータを、携帯電話にインストールされたアプリで受信し、自動的にPHR-DBに格納するもので、自宅にインターネット環境がなくても測定データを収集でき、院内の患者管理システムと連携することにより在宅ゲストの経常的なバイタル状況を病院にいるキャストが随時把握することができるようになっています。

このシステムは2010年6月より「在宅医療支援システム」として試験運用中ですが、残念ながら今のところ携帯電話と通信できる機能の付いた体温計が無く、体温測定値だけはゲストの方に携帯電話より手入力いただいています。今後、測定機器の小型化・高性能化に合わせて、このようなシステムの需要も拡大していくと予想しており、当社も家庭からの容易なデータ収集の仕組みづくりに、継続して取り組んでまいります。

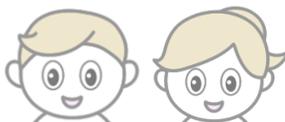
(医療法人久康会平田東九州病院様ホームページ: <http://www.q-totoro.org/>)

《在宅医療支援システムの利用例》



一 編集後記 一

あけましておめでとうございます。
今年はかなり寒さの厳しいお正月になりましたが、体調など崩されていませんか？
年末、年始は何かと飲んだり食べたりの機会が増えますが、体重管理は大丈夫でしたか？増えてしまった体重は、すぐに解消しておきましょう！



発行元：
株式会社ベストライフ・プロモーション
川崎市中原区上小田中4-1-1 富士通川崎工場内
TEL：044-754-2060 FAX：044-754-2029
URL：http://www.blp.co.jp